

ビジョン・経営戦略の概要

水道ビジョンとは

将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、取り組みの目指すべき方向性やその実現方策を示す計画である。

水道の理想像

安全

安心して飲める水道
適正な水質管理体制
統合的アプローチによる対応

強靱

危機管理に対応できる水道
適切な施設更新、耐震化
被災してもしなやかに対応

持続

国民から信頼され続ける水道
長期的に安定した事業基盤
人口減少社会を踏まえた対応

経営戦略とは

水道の理想像を実現するため、必要な投資や財源、運営体制を整理し、安定した経営を続けるための計画である。

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
3. 彦根市水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 基本理念および将来像
6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
8. フォローアップ

共通部分(緑色)

ビジョン1～4、8と
経営戦略1～3・7
の内容は概ね共通

個別部分

黄色＝ビジョン
青色＝経営戦略

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

▶ 1. はじめに

2. 彦根市と水道事業の概要

3. 彦根市水道事業の現状と課題

4. 将来の事業環境

5. 基本理念および将来像

6. 実現方策

7. 課題と実現方策の整理

8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに

2. 水道事業の概要

3. 水道事業の現状と課題

4. 将来の事業環境

5. 経営の基本方針

6. 今後の取り組み

7. 投資・財政計画

8. 計画の進捗管理

第1章 はじめに（ビジョン・経営戦略共通）

1.1 策定の趣旨

ビジョン

厚生労働省が平成25年に策定した「新水道ビジョン」に基づき、平成29年3月に「水道事業ビジョン」を策定



計画期間（平成29～令和8年度）の満了にあたり、取組を整理し、課題・目標を見直して「彦根市水道事業ビジョン2026」を策定

経営戦略

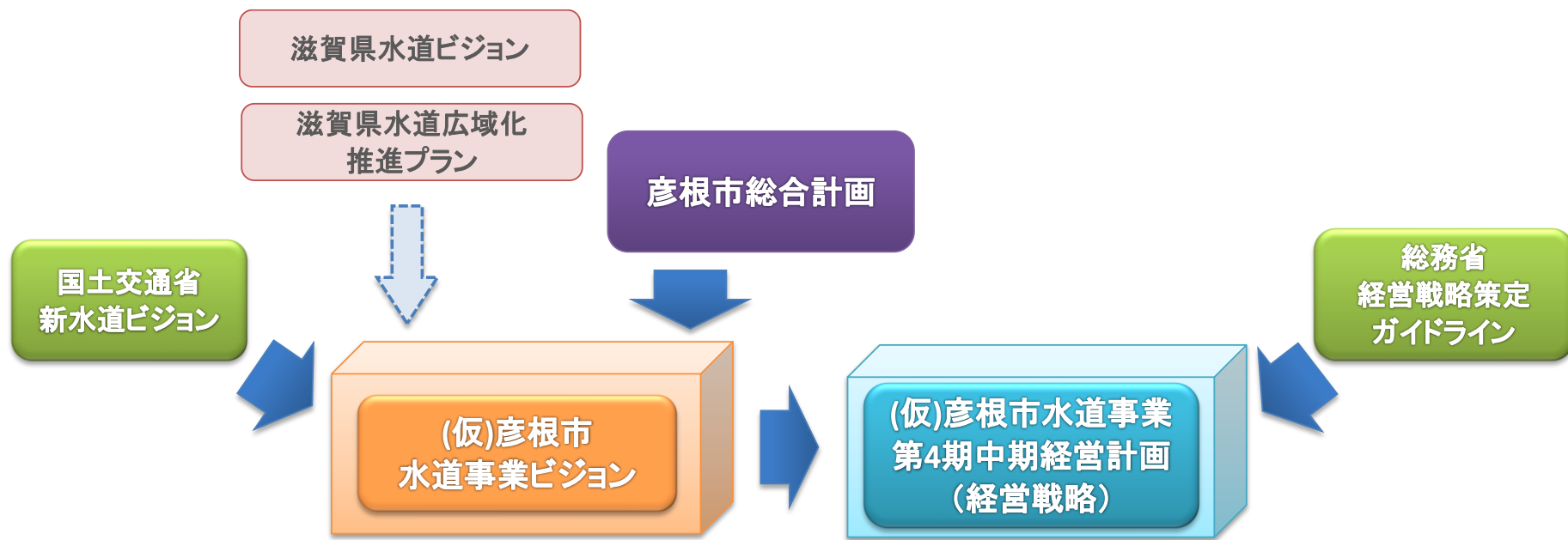
「水道事業ビジョン」の実現方策と総務省ガイドラインを踏まえ、平成29年3月に「彦根市水道事業 第3期中期経営計画（経営戦略）」を策定



計画期間（平成29～令和8年度）の満了にあたり、中間見直しを踏まえて取組を整理し、課題・目標を見直して「第4期中期経営計画（経営戦略）改訂版」を策定

第1章 はじめに（ビジョン・経営戦略共通）

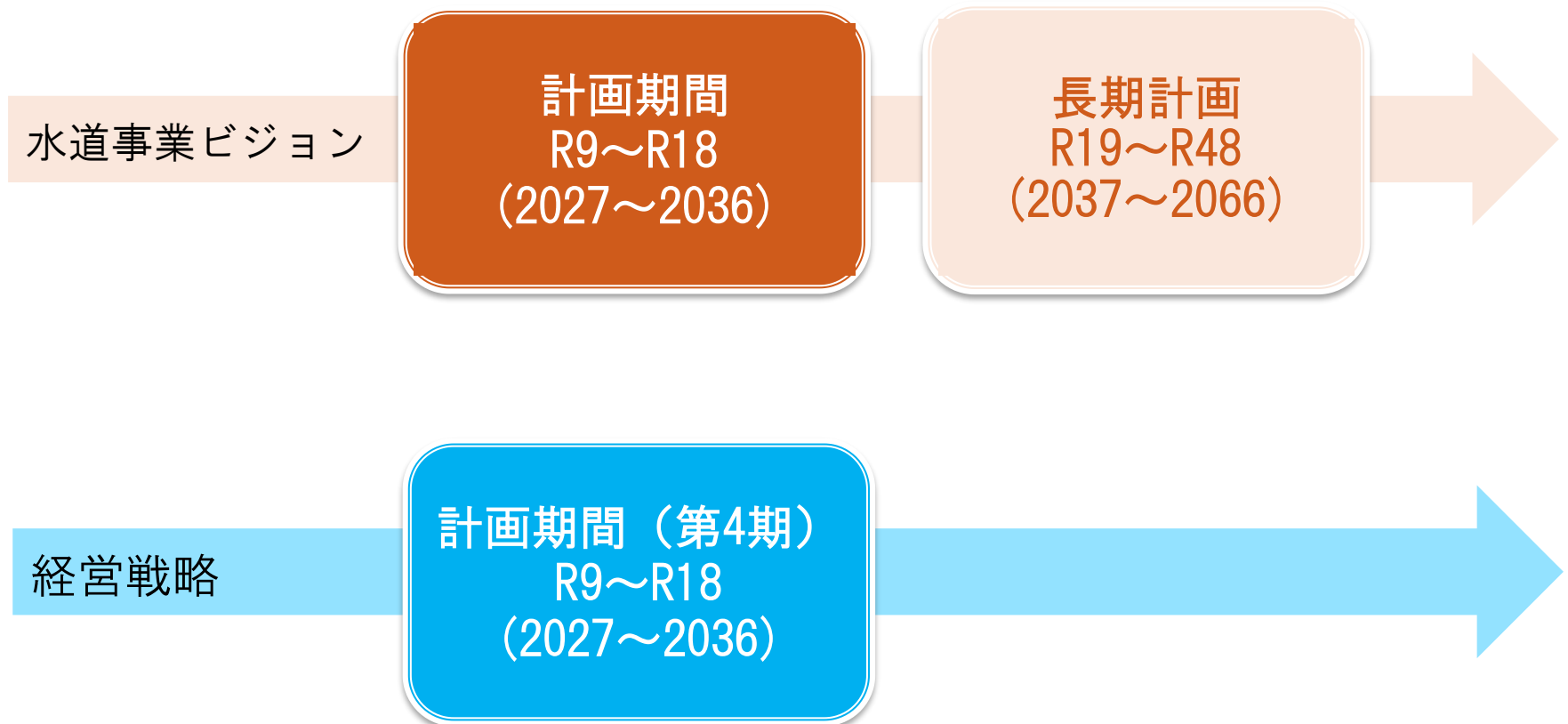
1.2 位置づけと計画期間



- ・ ビジョンは彦根市の「総合計画」を上位計画とし、国土交通省の『新水道ビジョン』に基づく
- ・ 経営戦略はビジョンを上位計画とし、総務省の『経営戦略策定ガイドライン』に基づく

第1章 はじめに（ビジョン・経営戦略共通）

1.2 位置づけと計画期間



ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

1. はじめに

▶ 2. 彦根市と水道事業の概要

3. 彦根市水道事業の現状と課題

4. 将来の事業環境

5. 基本理念および将来像

6. 実現方策

7. 課題と実現方策の整理

8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに

2. 水道事業の概要

3. 水道事業の現状と課題

4. 将来の事業環境

5. 経営の基本方針

6. 今後の取り組み

7. 投資・財政計画

8. 計画の進捗管理

第2章 水道事業の概要（ビジョン・経営戦略共通）

2.1 水道事業の沿革

事業	認可 年月日	計画 給水人口 (人)	計画1日 最大 給水量 (m ³ /日)	概要
創設事業	S33. 12. 24	32, 000	8, 000	大藪浄水場緩速ろ過池の築造 天王山配水池(2池)の築造
第1次拡張事業	S39. 12. 22	65, 000	22, 100	天王山配水池(2池)の増築 小泉水源地の設置
第2次拡張事業	S47. 2. 14	75, 000	31, 500	天王山配水池(1池)の増築 東沼波水源地の設置
第3次拡張事業	S53. 4. 18	102, 000	68, 800	天王山配水池(1池)の増築 稲枝上水道を彦根市上水道に統合
第4次拡張事業	H2. 3. 30	108, 700	68, 800	水道未普及地域(鳥居本地域)の解消 天王山配水池(1池)の増築 南部配水池(1池)の築造
第5次拡張事業	H12. 2. 15	118, 700	68, 800	南部配水池の増築、稲枝配水池の改築 東沼波水源地の改築、東部配水池の築造

- ・ 水利権(H29年度)の見直しにより現在の計画1日最大給水量は57, 400m³/日
- ・ 現在、水利権の更新とともに事業変更認可の申請中
(東沼波水源地、取水地点の変更)

第2章 水道事業の概要（ビジョン・経営戦略共通）

2.2 水道施設の概要

【浄水施設】

施設名	水源	施設能力	浄水方法	建設年度
大藪浄水場	表流水	54,200 m ³ /日	凝集沈殿・急速ろ過・緩速ろ過	S35～H2
東沼波水源池	深井戸	8,850 m ³ /日	塩素消毒のみ	H17
稲枝水源池	深井戸	5,750 m ³ /日	塩素消毒のみ	S44

【配水施設】

系統	施設名	容量	建設年度	ポンプ場
大藪水源系	天王山配水池(1号)	5,400 m ³	S58	摺針中継ポンプ場
	天王山配水池(2号)	5,400 m ³	H3	
	天王山配水池(3号)	8,500 m ³	H22	
	摺針配水池	20.7m ³ /池×2	S54	
	南部配水池(1号)	5,000m ³	H10	
	南部配水池(2号)	5,000m ³	H12	
東沼波水源系	東部配水池	1,800m ³ /池×2	H27	鳥居本中継ポンプ場 笹尾中継ポンプ場 善谷中継ポンプ場
	仏生寺配水池	31.5m ³ /池×2	H4	
	笹尾配水池	19.8m ³ /池×2	H3	
	善谷配水池	20.4m ³ /池×2	H5	
稲枝水源系	稲枝配水池	3,000 m ³	H18	－

※現行ビジョン・経営戦略の計画期間(H29～R8年度)で高根中継ポンプ場、高根配水池、正法寺第1加圧所、正法寺第2加圧所の4か所を廃止

【管路】 約810km

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
- ▶ 3. 彦根市水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 基本理念および将来像
6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

- ・ 本章では、水道の理想像を実現するため、「安全」、「強靱」、「持続」ごとに様々な側面から水道事業の現況を分析し、課題を抽出する。
- ・ 「持続」については、経営戦略の視点も踏まえ、課題を抽出する。

1. 安全

- ・ 水源
- ・ 水質
- ・ 貯水槽水道

2. 強靱

- ・ ハード対策
- ・ ソフト対策

3. 持続

- ・ 水道施設の更新
- ・ 水道施設の維持管理
- ・ お客様サービス
- ・ 経営・運営状況
- ・ 環境配慮

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.1 安全

【水源】

- ・ 水源構成は表流水（琵琶湖）と地下水（深井戸）
- ・ 琵琶湖水源は条例（昭和35年制定）を制定し、保護に取り組んでいる
- ・ 深井戸は経年化が進行しており、計画的な更新が必要

【課題】 井戸の計画的な更新

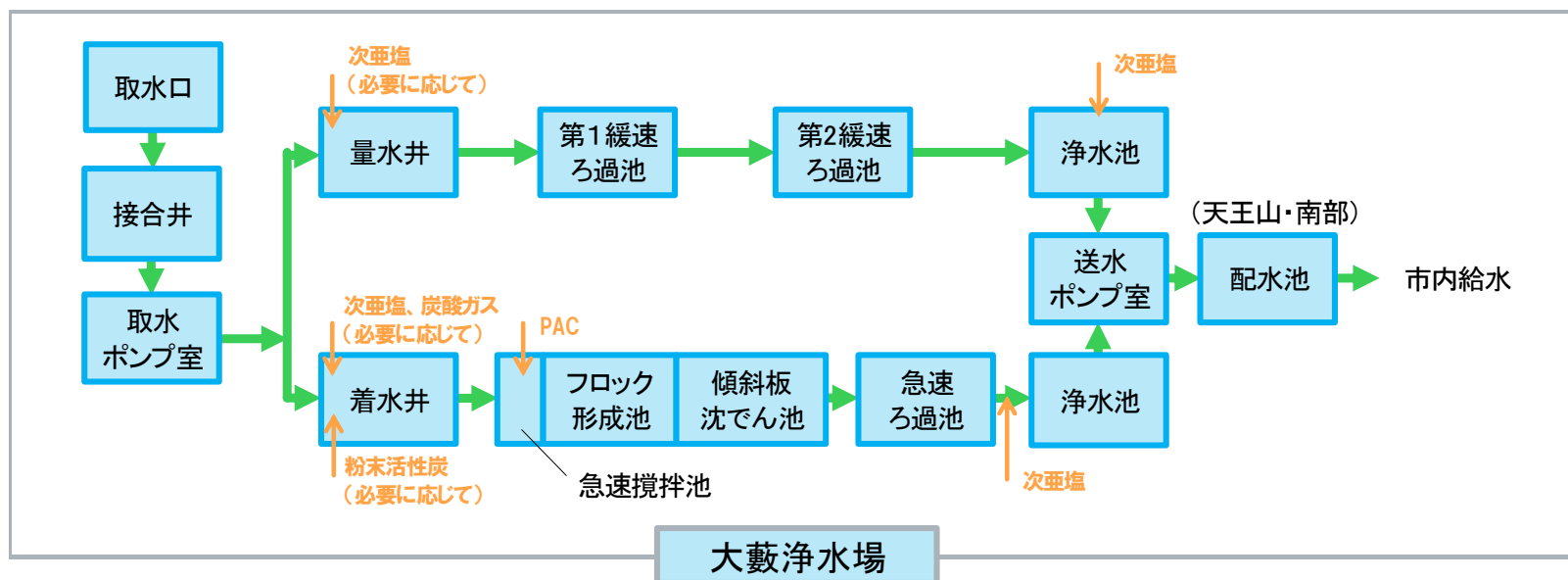
第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.1 安全

【水質：浄水処理】

大藪系（水源：琵琶湖）

- ・ 荒天・農繁期に濁度上昇 → 濁度監視＋PAC注入で対応
- ・ 異臭味発生（かび臭等）→ 近年かび臭物質の濃度が上昇傾向にあり、粉末活性炭の投入量が増加



【課題】 処理方式の見直し

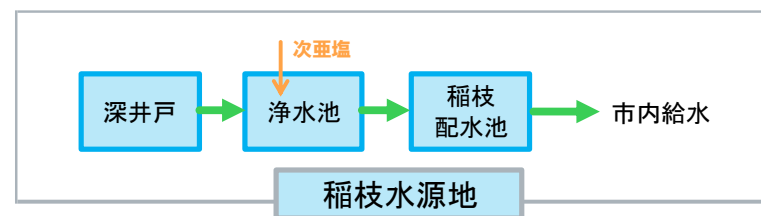
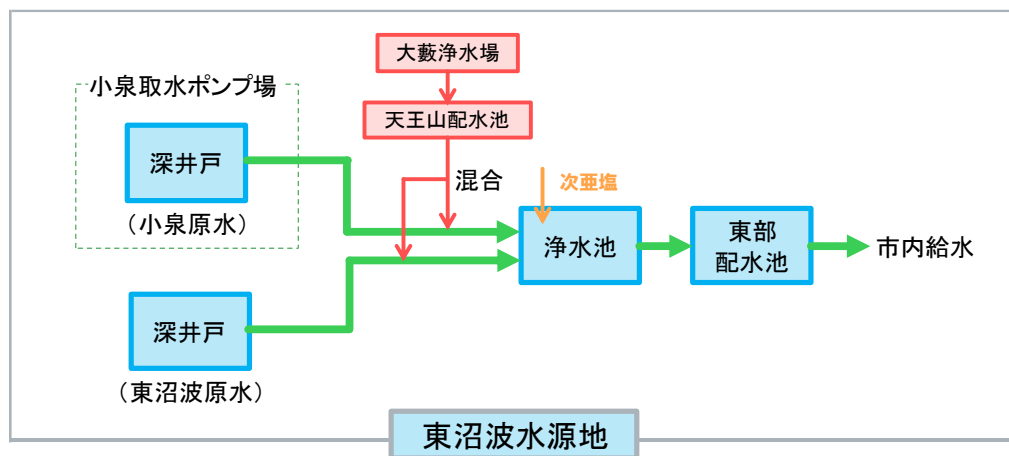
第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.1 安全

【水質：浄水処理】

東沼波系（水源：地下水）

- ・ 硬度が高いため、大藪系と混合し軟水化
- ・ 取水井が老朽化 → 取水が困難な井戸があり、更新対策が必要



第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.1 安全

【水質：給水水質】

- ・ 水道水の味に影響を与える有機物・トリハロメタン濃度は全国と同程度
- ・ R6年から一時的なかび臭で苦情

業務指標（PI）	彦根市										類似団体 中央値	全国 中央値
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R5
総トリハロメタン濃度 水質基準比率（％）	12	12	13	13	15	13	15	17	15	20	20	15
有機物（TOC）濃度 水質基準比率（％）	17	19	19	17	20	21	17	17	16	18	22	17
水質に対する苦情対応割合 （件/1000件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	-	-

※類似団体中央値、全国中央値は「水道事業ガイドライン業務指標(PI)算定結果(令和5年度)について」（水道技術研究センター）

類似団体：同出典の給水人口10～50万人（以降同様）

【水質管理】

- ・ 原水・浄水の水質を毎日11項目で自己検査（独自項目含む）
- ・ pH、味、臭気、放射性物質なども含めて監視
- ・ 放射性セシウム（H27～）、PFOS・PF0A（R2～）も測定対象に追加

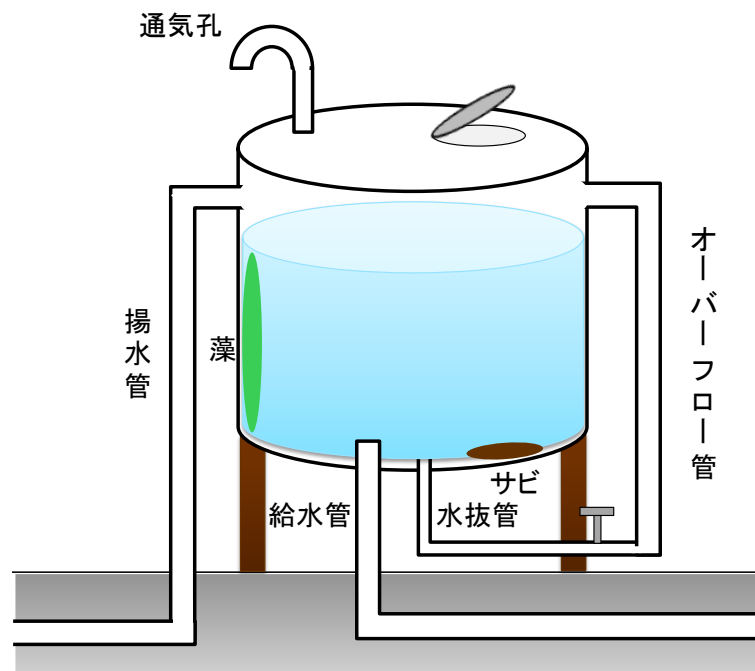
【課題】 水質管理の強化

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.1 安全

【貯水槽水道】

- ・ 高層建築や工場では貯水槽水道を使用
- ・ 非常時に有効だが、管理不足による水質悪化のリスクあり
- ・ 所有者の確認と点検・検査の啓発を行い、今後も管理義務の周知が必要



【課題】 貯水槽水道管理の周知・啓発の徹底

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.2 強靱

【ハード対策：水道施設の耐震性】

- ・ 主要な配水池は耐震化済であるが、大藪浄水場の緩速ろ過池、各浄水場の各浄水池や受水槽などは非耐震である
- ・ 管路の耐震化は実施中であり、耐震化率は類似団体と同程度だが、2割程度にとどまっている
- ・ 南海トラフ地震に備え、計画的な耐震化の推進が必要

業務指標（PI）	彦根市										類似団体 中央値	全国 中央値
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R5
浄水施設の耐震化率（％）	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	76.5	42.3	11.9
配水池の耐震化率（％）	90.9	90.9	90.9	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	72.8	44.1
管路の耐震管率（％）	10.5	11.7	12.8	13.8	14.6	15.3	16.0	16.8	20.6	21.4	20.3	13.4

【課題】 施設・管路の耐震化

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.2 強靱

【ハード対策：水害対策】

- ・大雨時、大藪・稻枝・東沼波の各施設に浸水リスクあり（最大で0.5～1m）
（大藪浄水場では自家発電設備を地上に移設中）

【課題】 浸水対策

【ハード対策：バックアップ機能】

- ・地下水で市全体の約1/4を賄う体制 → 最低限の生活用水は確保可能
- ・一方、大藪系単独区域のバックアップ体制の検討が必要

【課題】 水道施設のバックアップ機能の検討

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.2 強靱

【ソフト対策：備蓄状況等】

- ・ 応急給水・復旧体制を整備し、断水時に迅速対応
- ・ 応急給水関連の指標は全国水準と同等以上

業務指標（PI）	彦根市										類似団体 中央値	全国 中央値
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R5
配水池貯留能力（日）	1.06	1.06	1.07	1.05	1.08	1.09	1.09	1.08	1.08	1.05	0.89	1.04
応急給水施設密度（箇所/100km ² ）	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	9.3
薬品備蓄日数（日）	30.0	38.1	30.9	26.5	40.0	33.5	42.9	39.2	31.8	36.0	29.4	30.0
燃料備蓄日数（日）	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7
給水車保有度（台/1000人）	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01
車載用の給水タンク 保有度（m ³ /1000人）	0.17	0.20	0.22	0.25	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.06	0.13

3.2 強靱

【ソフト対策：危機管理体制・情報提供】

- ・ 地域防災計画・BCP・受援計画・震災対策マニュアルを整備
- ・ 災害時は市職員を中心に、民間・水道協会と連携して対応
- ・ 防災マニュアル・広報手段を活用し、市民への周知を強化
- ・ 給水状況・施設被害などを災害時に随時発信

【課題】 危機管理体制の継続的な見直し

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.3 持続

【水道施設の更新】

- ・ 近い将来、大量の施設が更新時期を迎える
- ・ 更新を実施しているが、構造物・設備の老朽化率は依然高水準
- ・ 凍結による漏水のため給水量が水利権水量を超過したことを踏まえ、適正規模での更新が必要

業務指標（PI）	彦根市										類似団体 中央値	全国 中央値
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R5
法定耐用年数超過浄水施設率（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	0.0	0.0
法定耐用年数超過設備率（％）	61.0	68.3	78.1	78.1	73.2	73.2	79.5	70.3	64.9	64.9	48.9	44.7
法定耐用年数超過管路率（％）	10.75	10.52	10.54	10.66	11.46	11.45	12.47	13.50	13.24	14.20	25.20	22.20
管路の更新率（％）	0.54	0.69	0.71	0.88	0.73	0.62	0.47	0.65	0.70	0.64	0.58	0.40
施設利用率（％）	57.3	57.5	67.6	68.8	67.2	66.5	66.8	67.0	67.3	69.2	63.1	59.4
最大稼働率（％）	66.1	69.6	81.5	74.6	73.4	74.2	83.8	94.6	82.1	80.8	68.9	70.2

【課題】 老朽化施設・管路の更新、適正規模での更新

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.3 持続

【水道施設の維持管理】

- ・ 老朽化による漏水増加に備え、漏水対策と有収率の向上が必要
- ・ 集中監視体制と定期点検により、安定運転を維持
- ・ 将来的な人員減少を見据え、維持管理の効率化が課題

業務指標（PI）	彦根市										類似団体 中央値	全国 中央値
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R5
管路の事故割合（件/100km）	4.0	4.8	5.0	4.6	4.2	1.8	2.9	3.4	4.1	3.3	1.5	0.0
有収率（％）	87.2	87.3	89.2	87.3	88.8	91.1	90.5	89.6	87.8	85.8	91.3	85.1

【課題】 有収率の向上、維持管理効率の向上

【お客様サービス】

- ・ ホームページ等で平時・災害時の情報を発信
- ・ お客様サービスセンターで料金・受付業務を一元化
- ・ コンビニ・キャッシュレス決済など多様な支払方法に対応

【課題】 お客様サービスの充実

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

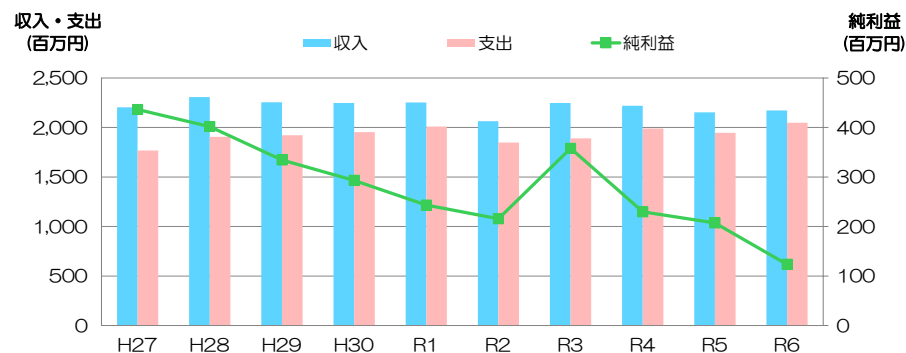
3.3 持続

【経営・運営状況（経営状況）】

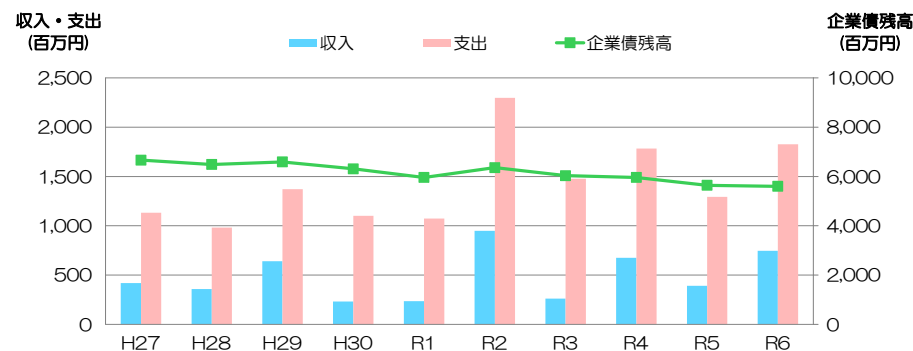
- ・現時点では純利益は黒字ではあるが、減少傾向にある（動力費、委託料が増加）
- ・経営の安定性や効率性を示す総収支比率や料金回収率はいずれも100%以上維持

業務指標（PI）	彦根市										類似団体 中央値	全国 中央値
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R5
総収支比率（％）	124.7	121.1	117.4	115.0	112.1	111.7	118.9	111.5	110.6	106.0	110.2	108.3
料金回収率（％）	126.8	117.7	118.0	113.0	111.0	108.2	116.9	106.3	107.2	101.1	102.7	98.8
給水収益に対する 企業債残高の割合（％）	378.5	367.9	372.4	358.7	339.4	406.6	341.7	340.8	327.5	323.8	242.7	323.6

収益的収支の推移



資本的収支の推移



第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.3 持続

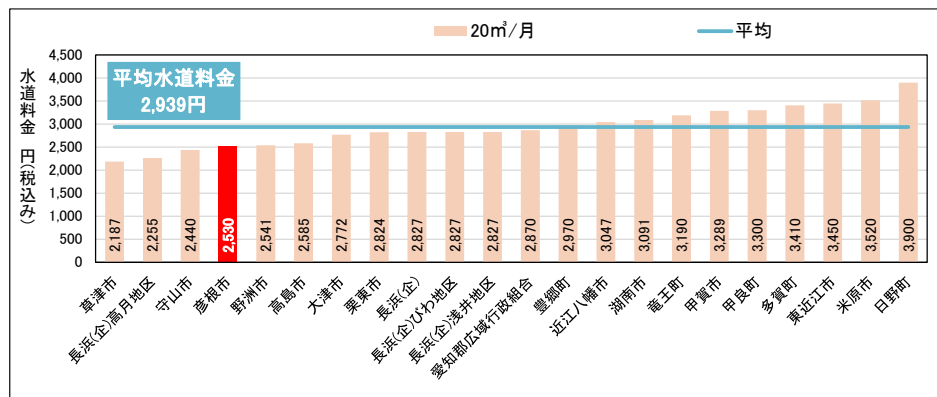
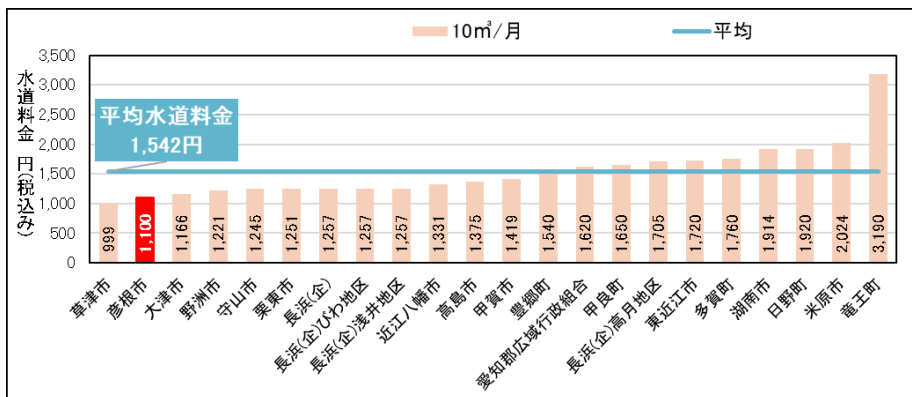
【経営・運営状況（経営状況）】

- ・ 滋賀県内市町村と比較して低い料金水準にあり、将来の更新投資に備えた財源確保が課題

業務指標（PI）	彦根市										類似団体 中央値	全国 中央値
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R5
1か月10m ³ 当たり 家庭用料金（円）	1,080				1,100						1,280	1,540
1か月20m ³ 当たり 家庭用料金（円）	2,484				2,530						2,772	3,206

※消費税率の変更に伴い料金が上昇

滋賀県内各市町の水道料金比較（口径13mm、使用水量10m³・20m³/月）



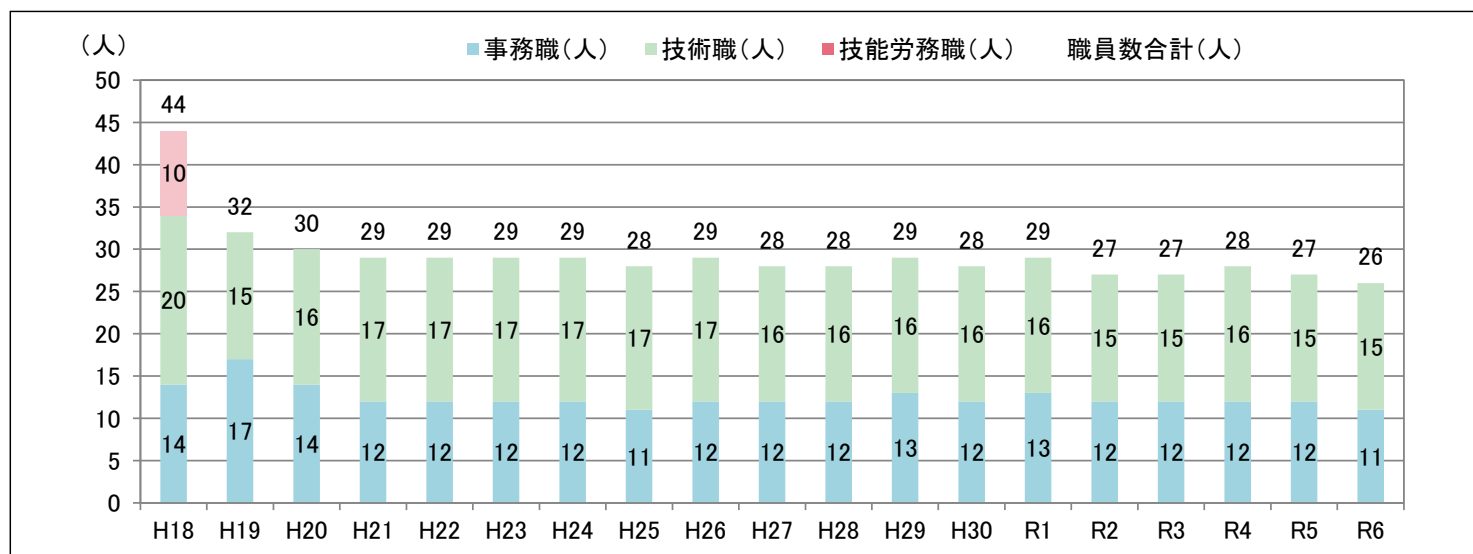
【課題】 料金改定を視野に入れた資金の確保

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.3 持続

【経営・運営状況（組織）】

- ・ 人件費の抑制のため、業務の効率化を図り、最低限の人員を維持
- ・ 技術継承に向け、再任用などで専門人材の確保・育成を推進中であるが、人事異動の関係上、水道事業の経験年数は短い
- ・ 施設更新への対応に向け、業務委託や人員体制の強化が必要



【課題】 業務遂行体制の強化

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.3 持続

【環境配慮】

- ・ 今後も環境に配慮し、CO₂削減に継続的に取り組む必要あり
(ポンプの更新時に高効率な機器を採用するなど)

【課題】 CO₂の削減

第3章 水道事業の現況と課題（ビジョン・経営戦略共通）

3.4 課題のまとめ

	課題	
安全	井戸の計画的更新	処理方式の見直し
	水質管理の強化	貯水槽水道管理の周知・啓発の徹底
強靱	施設・管路の耐震化	浸水対策
	水道施設のバックアップ機能の検討	危機管理体制の継続的な見直し
持続	老朽化施設・管路の更新	適正規模での更新
	有収率の向上	維持管理効率の向上
	お客様サービスの充実	資金の確保
	業務遂行体制の強化	CO ₂ の削減

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

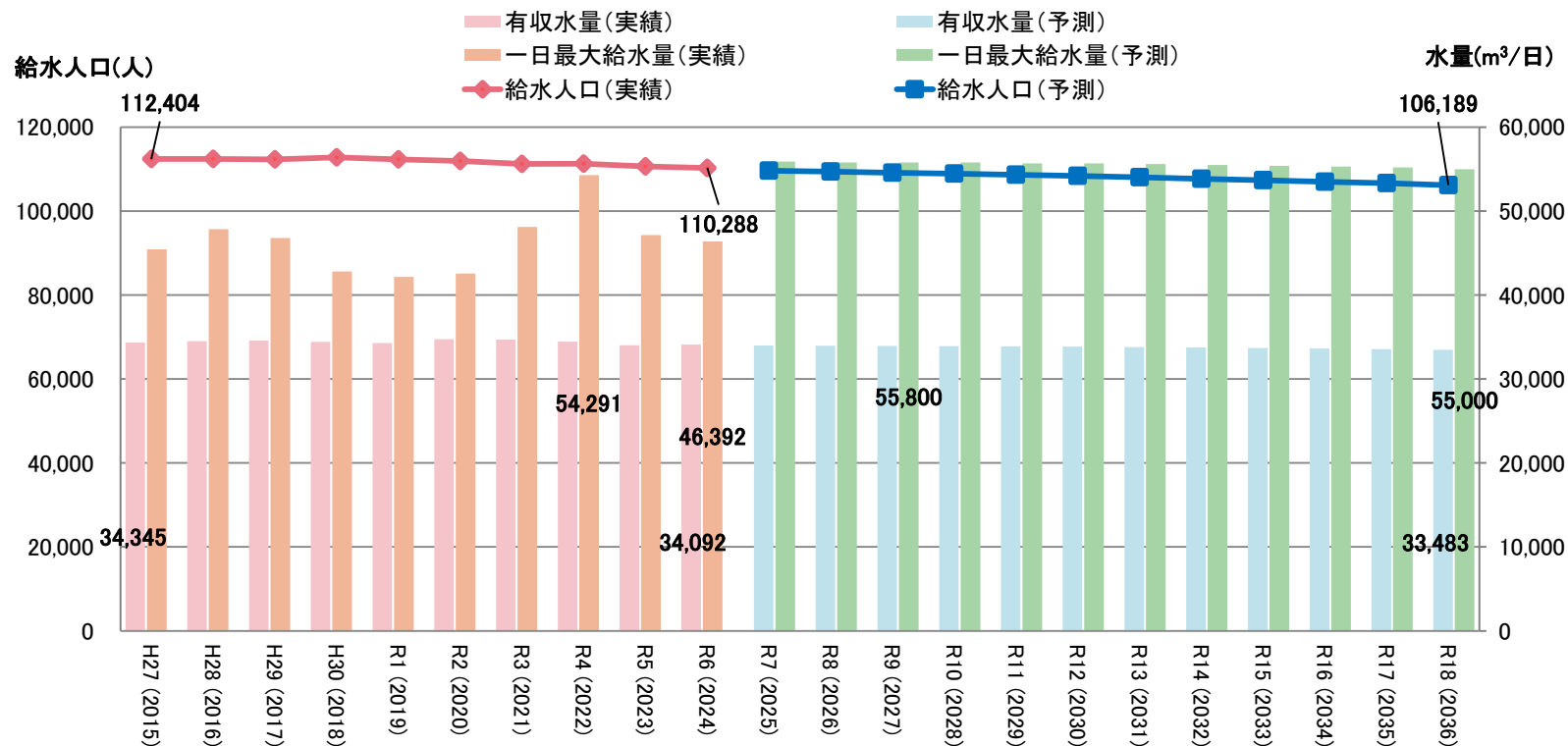
1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
3. 彦根市水道事業の現状と課題
- ▶ 4. 将来の事業環境
5. 基本理念および将来像
6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理

第4章 将来の事業環境（ビジョン・経営戦略共通）

4.1 給水人口と給水量



- ・ 令和18年度の給水人口は106,189人、有収水量は33,483m³/日で、令和6年度と比べてそれぞれ3.7%、1.8%減少

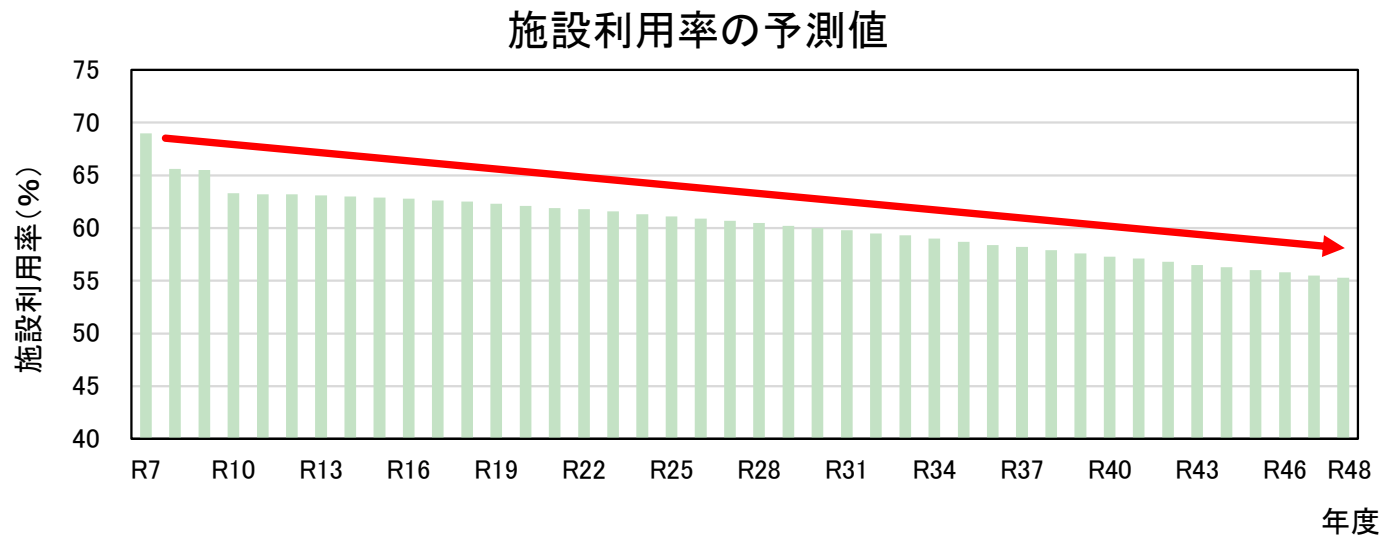
（参考）令和18年度までの一日最大給水量※の最大値は55,800m³/日（⇔現行認可の計画一日最大給水量は57,400m³/日）

※一日最大給水量の将来値は、有収水量について、漏水による損失分・漏水ではないが料金収入に繋がらない水量・日変動を考慮した値。日変動については直近10年間で最も変動が大きい令和4年度の実績値を基に設定。

第4章 将来の事業環境（ビジョン・経営戦略共通）

4.2 施設の効率性の低下

- ◆ 今後の水需要減少による事業環境を踏まえ、より効率的に水を供給していくために、非常時を考慮したうえで、施設・管路の更新時に規模縮小の検討が必要

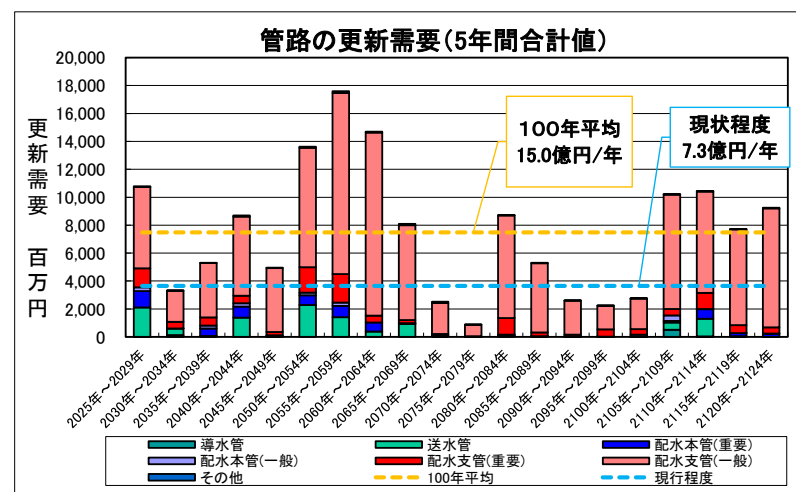
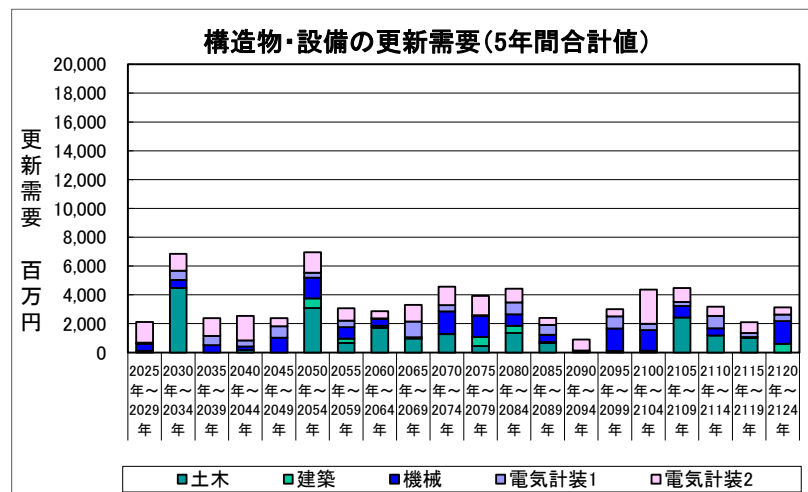


施設利用率は、一日平均給水量の予測値と施設能力（認可値・水利権値）から算出し、令和48年度まで低下傾向が見込まれている。

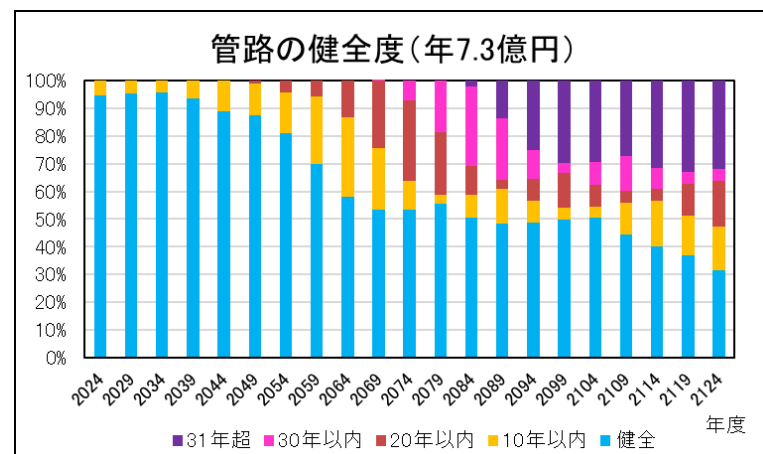
第4章 将来の事業環境（ビジョン・経営戦略共通）

4.3 水道施設の老朽化

- ◆ 補修や点検による長寿命化や、規模を縮小した更新を行い、更新量や更新費用の削減が必要



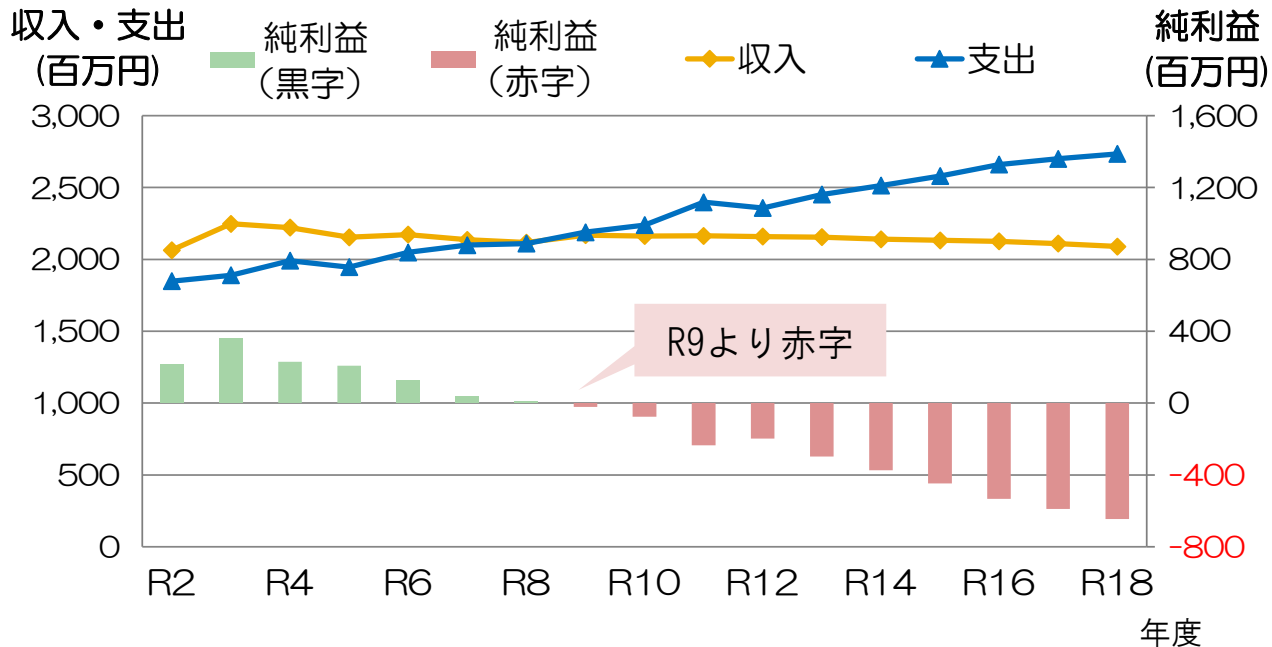
- ・ 更新需要について、管路は構造物・設備よりも大きく、約15億円/年となる。
- ・ 現状程度の管路投資の場合、健全度は低下の一途をたどる。
- ・ 安定した水道施設の運営を持続するには、計画的な更新が不可欠となる。



第4章 将来の事業環境（ビジョン・経営戦略共通）

4.4 資金の確保

- ◆ 長期的に安定して事業を継続するには、効率的な運営を行い、財源の確保が必要



現状どおりの事業運営では、令和9年度から赤字となる見込みであり、資金確保のため、水道料金改定は避けられないと考えられる。

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
3. 彦根市水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
- ▶ 5. 基本理念および将来像
6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理

基本理念

安心・安全な水を届け

暮らしを守る 彦根の水道

第5章 基本理念及び将来像（ビジョン）

5.2 基本方針及び施策目標

①【安全】

安心・安全な水の供給

- ・ 水源の維持
- ・ 水質管理の徹底
- ・ 貯水槽水道の管理の徹底
- ・ **かび臭対策の強化**

②【強靱】

災害に強い水道の構築

- ・ 水道施設の耐震化
- ・ 浸水対策
- ・ 危機管理体制の強化

③【持続】

持続可能な水道経営

- ・ 施設の計画的な更新
- ・ 効率的な水道システムの構築
- ・ 適切な維持管理
- ・ お客様の対応の改善
- ・ 健全な経営の維持
- ・ 環境への配慮

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
3. 彦根市水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 基本理念および将来像
-  6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 1 安全 ～安心・安全な水の供給

施策目標
1.1

水源の維持

施策 1) 地下水源の点検・整備

施策 2) 井戸の更新および新設

・ 計画期間内に東沼波、小泉、稲枝水源地の井戸を更新する。

目標

指標など	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
地下水源の点検・整備	1回/月	1回/月	1回/月	異常発生時は随時
井戸の更新および新設	実施準備中	6井	随時更新	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 1 安全 ～安心・安全な水の供給

施策目標
1.2

水質管理の徹底

施策 1) 水安全計画※の見直し

- ・ 水安全計画に基づき、水道システム全体のリスクを把握し、管理方法や対応方法の適正な運用を図る。計画の実効性を維持するため、職員への周知と実施状況の検証を継続し、原則5年ごとに見直しを行う。

目標

指標など	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
水安全計画の見直し	R4実施	R9：見直し R14：見直し	1回/5年	

※水安全計画は、安全な水道水を安定的に供給するため、水源から給水までの各工程におけるリスクを把握し、対応方法を整理する計画である。

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 1 安全 ～安心・安全な水の供給

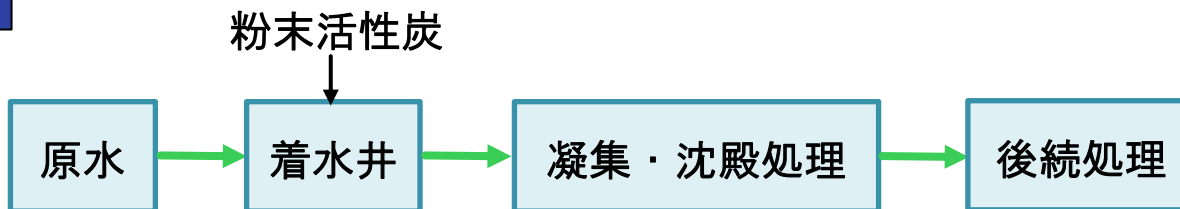
施策目標
1.3

かび臭対策の強化

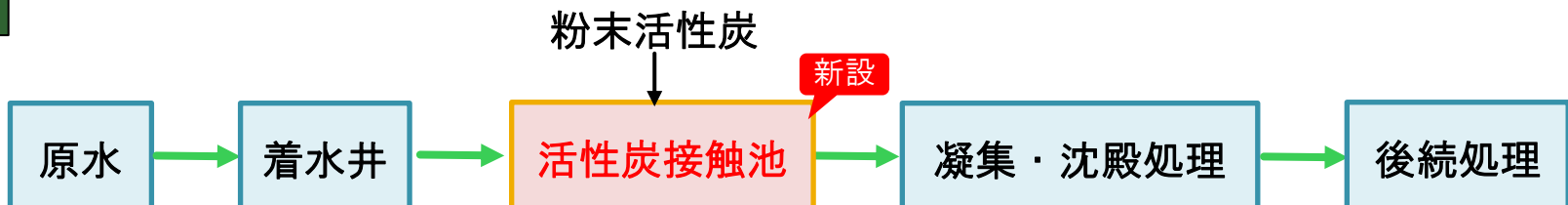
施策 1) 粉末活性炭処理設備の整備

- ・大藪浄水場の急速ろ過処理について、かび臭対策を強化するため、粉末活性炭との接触時間等を調整できる活性炭接触池を整備する。

整備前



整備後



第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 1 安全 ～安心・安全な水の供給

施策目標
1. 4 貯水槽水道の周知・啓発の徹底

施策 1) 受水槽所有者への維持管理の周知

- ・貯水槽水道の水質を確保するためには、受水槽所有者による適切な維持管理が重要である。そのため、清掃・点検・検査等の管理方法について継続的に周知啓発を行い、適正管理の徹底を図る。

目標

指標など	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
貯水槽水道指導率（％）	97. 6	～100. 0	100. 0	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針2 強靱 ～災害に強い水道の構築

施策目標 2.1

水道施設の耐震化

施策1) 耐震化計画の策定・見直し

施策2) 構造物・設備の耐震化

施策3) 管路の耐震化

■：経営戦略にも記載あり

施策1)

- ・水道施設の耐震性を確保するため、施設整備計画や水道ビジョン、中期経営計画との整合を図りながら、耐震化計画を定期的に見直す。

目標

指標など（施策1）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
耐震化計画の策定・見直し	実施中	R11:見直し R16:見直し	1回/5年	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 2 強靱 ～災害に強い水道の構築

施策目標 2.1

水道施設の耐震化

施策 1) 耐震化計画の策定・見直し

施策 2) 構造物・設備の耐震化

施策 3) 管路の耐震化

■：経営戦略にも記載あり

施策 2)

- ・浄水場・配水池等の重要施設について、更新時期や重要度を踏まえ、耐震化計画に基づき計画的に耐震化を進める。

目標

指標など（施策 2）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
浄水施設の耐震化率（％）	76.5	～100.0	100.0	緩速ろ過池更新後100％
配水池の耐震化率（％）	91.1	91.1	～100.0	耐震化計画により今後見直し

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 2 強靱 ～災害に強い水道の構築

施策目標 2.1

水道施設の耐震化

施策 1) 耐震化計画の策定・見直し

施策 2) 構造物・設備の耐震化

施策 3) 管路の耐震化

■：経営戦略にも記載あり

施策 3)

- ・ 管路について、更新時期や重要度を踏まえ、耐震化計画に基づき計画的に耐震化を進める。

目標

指標など（施策 3）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
管路の耐震管率（％）	21.4	～27	～55	耐震化計画により5年毎に見直し
基幹管路の耐震適合率（％）	27.2	～60	～85	
重要施設供給管路の耐震適合率（％）	26.0	～70	～100	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 2 強靱 ～災害に強い水道の構築

施策目標
2.2

浸水対策

施策 1) 地下設備の地上化など

- ・ 大藪浄水場では、自家発電設備を地上へ移設する。
他の施設についても更新と同時に地上移設や嵩上げのほか、浸水壁等の対策を行う。

目標

指標など	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
地下設備の地上化など	実施	1設備	1設備	更新時に実施

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 2 強靱 ～災害に強い水道の構築

施策目標 2.3

危機管理体制の強化

施策 1) 震災対策マニュアルの見直し

施策 2) 災害用資機材の整備強化

施策 3) 防災訓練の強化

施策 1)

- ・ 災害時における応急給水・応急復旧を迅速かつ適切に実施するため、「震災対策マニュアル」について、関連計画との整合や被災事例、訓練結果等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。

目標

指標など（施策 1）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
震災対策マニュアルの見直し （BCPの策定を含む）	未実施	R9: 見直し R14: 見直し	1回/5年	他部署とも協議

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 2 強靱 ～災害に強い水道の構築

施策目標 2. 3

危機管理体制の強化

施策 1) 震災対策マニュアルの見直し

施策 2) 災害用資機材の整備強化

施策 3) 防災訓練の強化

施策 2) 3)

- ・ 災害時に必要となる簡易水槽等の資機材を計画的に整備するとともに、市民、関係部局、近隣自治体との防災訓練を実施し、危機管理体制の強化を図る。

目標

指標など（施策2、3）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
簡易水槽の所有数	17	17	17	避難所指定に伴い増数検討
応急給水施設密度（箇所 /100km ² ）	14. 2	14. 2	14. 2	
近隣自治体との給水訓練の実施	検討	1回/1年	1回/1年	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 3 持続 ～持続可能な水道経営

施策目標 3.1

施設の計画的な更新

施策 1) 施設整備計画の見直し

施策 2) アセットマネジメント
による計画的な更新

■：経営戦略にも記載あり

- ・施設整備計画の見直しやアセットマネジメントに基づき、更新規模の適正化を図りながら、施設・管路を計画的に更新する。

目標

指標など	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
施設整備計画の見直し	R3実施済	R13	1回/5年	
法定耐用年数超過浄水施設率（％）	23.5	～0.0	0.0	0を維持
施設利用率（％）	69.2	～65	～60	水需要に応じて 見直し
最大稼働率（％）	80.8	～90	～80	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 3 持続 ～持続可能な水道経営

施策目標 3.2

効率的な水道システムの構築

施策 1) 適正な規模での更新

施策 2) 管路以外の配水方法の検討

■：経営戦略にも記載あり

施策 1)

- ・大藪浄水場のろ過池に関して、老朽化施設の更新を予定している。

目標

指標など（施策 1）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
大藪浄水場のろ過池の更新	未実施	実施（緩速系）	実施（急速系）	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 3 持続 ～持続可能な水道経営

施策目標 3.2

効率的な水道システムの構築

施策 1) 適正な規模での更新

施策 2) 管路以外の配水方法の検討

■：経営戦略にも記載あり

施策 2)

- ・ 管路更新の効率性が低い地域では、将来的な老朽化や配水困難時に備え、運搬給水など管路以外の配水方法を検討・実施する。

目標

指標など（施策 2）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
管路以外の配水方法の検討	－	検討・実施	検討・実施	必要に応じて実施

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 3 持続 ～持続可能な水道経営

施策目標
3.3

適切な維持管理

施策 1) 漏水防止対策の強化

施策 2) 設備台帳の更新

■：経営戦略にも記載あり

- ・漏水対策を強化するため、老朽管の更新に加え、衛星などを活用した漏水調査による早期発見・早期修繕を実施する。
- ・設備台帳を随時更新し、維持管理や業務引継ぎに活用できる管理体制の充実を図る。

目標

指標など	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
管路の事故割合（件/100km）	3.3	3.3	3.3	
有収率（％）	85.5	85.5	～92.6	※
有効率（％）	88.2	88.2	～95.0	※
設備台帳の更新	随時更新	随時更新	随時更新	

※中期においては、基幹管路等の更新に集中投資するため、有収率、有効率ともに現状維持を目標としている。

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 3 持続 ～持続可能な水道経営

施策目標
3.4

健全な経営の維持

施策 1) 業務委託の拡充および
組織体制の見直し

施策 2) 施設更新費用の確保

■：経営戦略にも記載あり

施策 1)

- ・設計・施工・監理に必要な人員を確保しながら、業務委託の拡充や組織体制の見直しにより、業務の効率化を図る。

目標

指標など（施策 1）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
設計・施工・監理に要する人員の確保	-	人員増	人員維持	
委託範囲の拡大	設計支援	管路DB検討	-	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 3 持続 ～持続可能な水道経営

施策目標 3.4

健全な経営の維持

施策 1) 業務委託の拡充および
組織体制の見直し

施策 2) 施設更新費用の確保

■：経営戦略にも記載あり

施策 2)

- ・施設の点検・補修による長寿命化を進めるとともに、将来の更新需要に対応できるように、**料金改定を含めた**財源確保と維持経費の見直しに取り組む。

目標

指標など（施策 2）	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
維持経費の見直し	実施	実施	実施	
収益の確保（未収金対策、水道料金改定）	一部実施	検討	検討・実施	

第6章 実現方策（ビジョン）

基本方針 3 持続 ～持続可能な水道経営

施策目標 3.5

環境への配慮

施策 1) 電力使用量の削減

- ・ CO₂排出量の削減に取り組んでいるが、配水量 1m³あたりCO₂排出量は目標より高くなっているため、**高効率機器の採用**など引き続きCO₂削減に取り組む必要がある。

目標

指標など	実績値	中期	長期	備考
	R6	R9～R18	R19～R48	
配水量1m ³ あたりCO ₂ 排出量 (g・CO ₂ /m ³)	181	181	181	
高効率機器の採用	実施	拡大	拡大	更新時に実施

※配水量1m³あたりCO₂排出量は、電力事業者の二酸化炭素排出係数を乗じており変動する可能性がある。

第7章 課題と実現方策の整理（ビジョン）⇒別紙参照

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

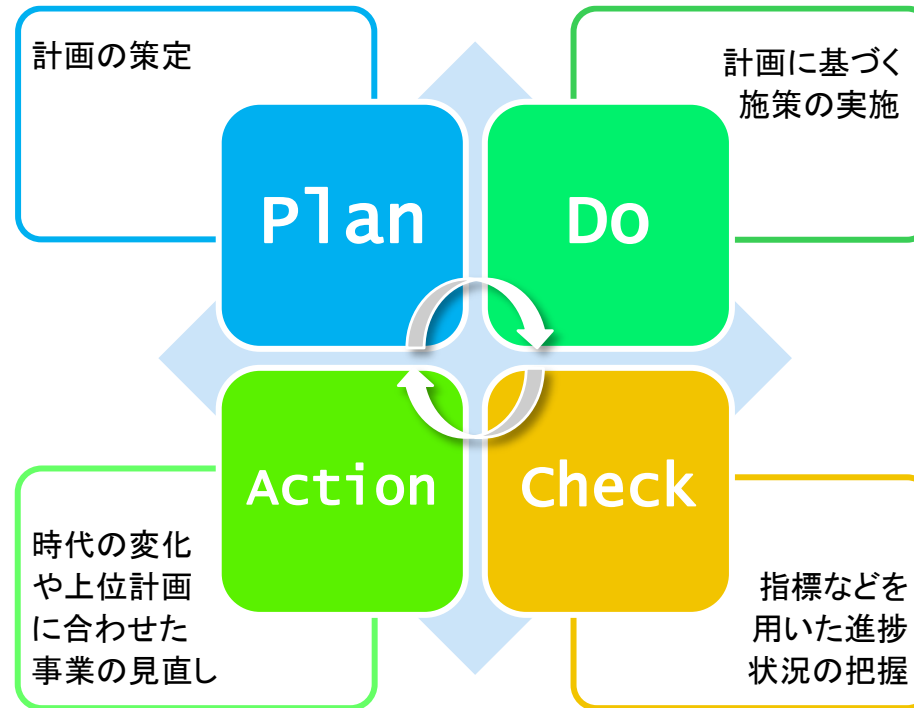
1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
3. 彦根市水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 基本理念および将来像
6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
- ▶ 8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理

第8章 フォローアップ（ビジョン・経営戦略共通）

- 本ビジョン・経営戦略に示される実現方策を着実に実施するためには、実現方策の進捗管理とそれに伴う改善が必要になります。
- このため、下記に示すPDCAサイクルに基づき、実施・検証・見直し・計画を行います。



前期					後期				
R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
必要に応じてフォローアップ				見直し	必要に応じてフォローアップ				次期策定

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
3. 彦根市水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 基本理念および将来像
6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
- ▶ 5. 経営の基本方針
6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理

第5章 経営の基本方針（経営戦略）

1. 効率的な水道施設整備（投資計画）		必須項目※
	（１）適正な規模での更新	
	（２）水道施設の合理化	アセットマネジメントの実施
	（３）水道施設の長寿命化および投資の平準化	アセットマネジメントの実施
2. 経営改善		
	（１）民間の資金・ノウハウなどの活用や業務委託	民間活用の実施
	（２）有収率の向上	
	（３）維持経費などの削減	その他の効率化
	（４）収益の確保	資産の有効活用等による収入増加の取組
	（５）広域化	広域化・共同化

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
3. 彦根市水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 基本理念および将来像
6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
- ▶ 6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理

第6章 今後の取り組み（経営戦略）

施策方針 1

効率的な水道施設整備

施策 1) 適正な規模での更新

- 施策 2)
- ① 管路材質の見直し
 - ② 配水方法の合理化

施策 3) 水道施設の長寿命化及び投資の平準化

■：ビジョンに既に記載済み

施策 2) 管路材質の見直し

- ・ 管路更新時に口径に応じた管材を採用し、耐震性を確保しながら更新費用の削減を図る。
- ・ 小口径管では、施工性・経済性に優れる配水用ポリエチレン管を活用する。

実施内容	実施期間	効果・目標など
耐震性を有した比較的安価な材質の利用	随時	・ 平均約1.1億円削減 (試算中、変更可能性あり)

第6章 今後の取り組み（経営戦略）

施策方針 2

経営改善

施策 1) 民間の資金・ノウハウなどの活用や業務委託

施策 2) 有効率の向上
施策 3) 維持経費などの見直し
施策 4) 収益の確保

施策 5) 広域化、共同化

■：ビジョンに既に記載済み

施策 1)

- ・ 受付業務や漏水確認、簡易修理対応等について、民間事業者への委託を検討・推進する。

実施内容（施策 1）	実施期間	効果・目標など
管路調査などの受付、分水状況や漏水の現地確認および簡易な緊急修理等現場対応の委託の実施	随時	-

第6章 今後の取り組み（経営戦略）

施策方針 2

経営改善

施策 1) 民間の資金・ノウハウなどの活用や業務委託

施策 2) 有効率の向上
施策 3) 維持経費などの見直し
施策 4) 収益の確保

施策 5) 広域化、共同化

■：ビジョンに既に記載済み

施策 5)

・ 滋賀県水道広域化推進プランに基づき、広域化・共同化の検討・実施を行う。

実施内容（施策 5）	実施期間	効果・目標など
広域化・共同化の検討・実施	随時	効率の向上・費用削減

ビジョン・経営戦略の概要目次

ビジョン

1. はじめに
2. 彦根市と水道事業の概要
3. 彦根市水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 基本理念および将来像
6. 実現方策
7. 課題と実現方策の整理
8. フォローアップ

経営戦略

1. はじめに
2. 水道事業の概要
3. 水道事業の現状と課題
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
6. 今後の取り組み
7. 投資・財政計画
8. 計画の進捗管理



第7章 投資・財政計画（経営戦略）

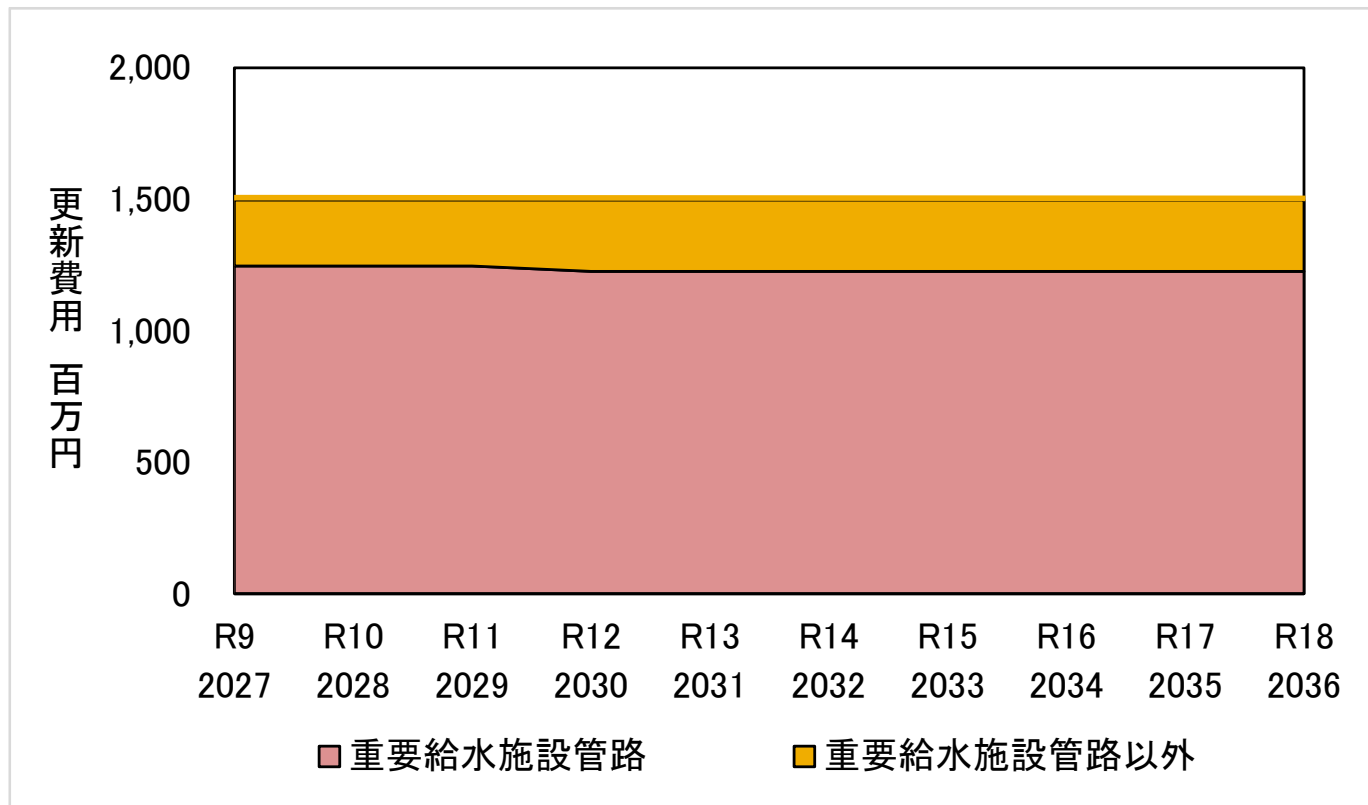
7.1 今後10年間の整備予定（構造物・設備の投資計画）

	費用 (百万円)	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036
大藪浄水場 (緩速ろ過池、中央監視更新等)	6,252										
東沼波水源地 ※R19以降継続 (受変電設備、自家用発電機更新等)	114										
東沼波取水井・小泉取水井・稲枝取水井 更新	1,217										
稲枝水源地 (受変電設備、ステンレスタンク増設等)	422										
電気・機械設備更新 ・鳥居本中継ポンプ場 ・笹尾中継ポンプ場・配水池 ・摺針中継ポンプ場・配水池 ・善谷中継ポンプ場・配水池	672										
テレメータ更新工事等 ・天王山配水池 ・南部配水池 ・東部配水池 ・稲枝配水池 ・仏生寺配水池	289										
その他 (回線変更対応工事等)	349										
合計	9,315										

- ・ 構造物・設備は、令和9～18年度の10年間で、約93億円（年平均9.3億円）の整備を実施する予定である。

第7章 投資・財政計画（経営戦略）

7.1 今後10年間の整備予定（管路の投資計画）



- ・ 管路は、令和9～18年度の10年間で、約150億円（年平均15億円）の整備を実施する予定である。そのうち、主に重要施設供給管路の更新を行う。

第7章 投資・財政計画（経営戦略）

7.2 投資・財政計画

< 前提条件 >

人口動態	コーホート要因法による独自推計。
物価上昇率	令和9～13年度まで年+1.82%、以降一定。

< 財源試算条件 >

目標		資金残高20億円以上（現状の水道料金1年程度）を維持。
収益的収支	料金収入	令和6年度の平均供給単価に有収水量を乗じた額。 （料金改定時は供給単価に改定率を乗じる）
	その他収益	過去の実績値をベースとして個別に推計。
資本的収入	企業債	水道料金等のバランスを踏まえて設定。 今後の起債条件は償還期間30年、元金償還据置期間5年で算定。
	その他 （負担金等）	過去の実績値をベースとして個別に推計。

第7章 投資・財政計画（経営戦略）

7.2 投資・財政計画

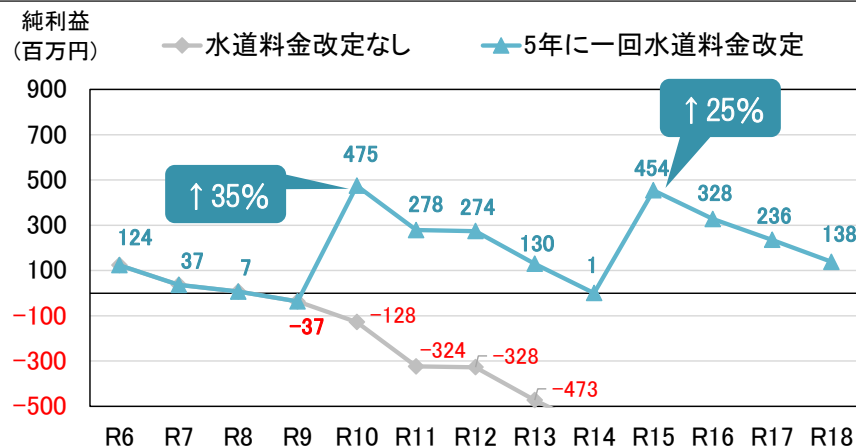
< 投資・費用試算条件 >

目標			・ 有収率 令和6年度：85.5% → 令和18年度まで据置 ・ 浄水施設の耐震化率 令和6年度：76.5% → 令和18年度：100% ・ 配水池の耐震化率 令和6年度：91.1% → 令和18年度まで据置
収益的支出	職員給与費		職員数は定員適正計画による。
	経費	動力費・薬品費	水需要に合わせて減少。
		上記以外	過去の実績値をベースとして個別に推計。
	減価償却費		既得資産の減価償却費に新規取得資産の減価償却費推計値を加えて計上。
	支払利息		令和9～13年度まで年+0.45%、以降一定。
	その他費用		過去の実績値をベースとして個別に推計。
資本的支出	建設改良費		予定事業を計上。（令和9年度以降については、構造物・設備は予定事業またはアセットマネジメントに基づく更新需要を計上。管路はアセットマネジメントに基づく更新需要（平準化）を計上。）
	企業債償還金		既往債の元金償還に新規発行予定額の元金償還額を加えて計上。

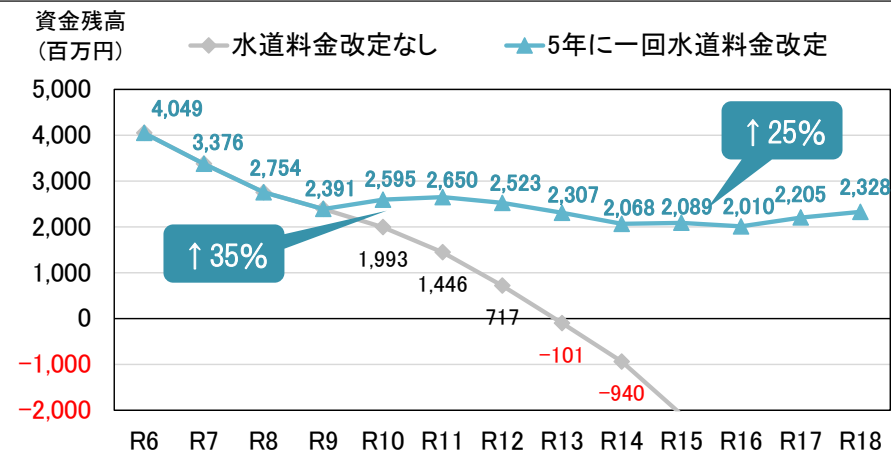
第7章 投資・財政計画（経営戦略）

7.2 投資・財政計画

純利益の将来値



資金残高の将来値



- ・ 前述の条件に基づき、水道料金を改定しない場合及び5年に1回水道料金を改定する場合について、純利益と資金残高の将来値を試算した。その結果。水道料金を改定した場合は、計画期間中概ね純利益の黒字を維持し、資金残高も最低20億円程度を確保できる。

基本方針	課 題		施策目標	実 現 方 策		指 標	実績値	中期	長期	
							R6	R9～R18	R19～R48	
①安全 安心・安全な 水の供給	水源	地下水源の確保	水源の維持	地下水源の点検・整備	地下水源の点検・整備	1回/月	1回/月	1回/月		
				井戸の更新および新設	井戸の更新および新設	実施準備中	6井	継続		
	水質	水質管理の強化	水質管理 の徹底	水安全計画の定期的な見直し	水安全計画の見直し	R4実施	R9：見直 し	1回/5年		
		処理方式の見直し	かび臭対策 の強化	粉末活性炭処理設備の整備	粉末活性炭処理設備の整備	未実施	実施	—		
	貯水槽水道	貯水槽水道管理の周知・啓発の徹底	貯水槽水道管理の 周知・啓発の徹底	受水槽所有者への維持管理の周知	貯水槽水道指導率（％）	97.6	～100	100.0		
②強靱 災害に強い 水道の構築	災害・ 事故対策	施設・管路の耐震化	水道施設 の耐震化	耐震化計画の策定・見直し	耐震化計画の策定・見直し	実施中	R11：見直し R16：見直し	1回/5年		
				構造物・設備の耐震化	浄水施設の耐震化率（％）	76.5	～100.0	100.0		
					配水池の耐震化率（％）	91.1	91.1	～100.0		
				管路の耐震化	管路の耐震管率（％）	21.4	～27	～55		
					基幹管路の耐震適合率（％）	27.2	～60	～85		
					重要施設供給管路の耐震適合率（％）	26.0	～70	～100		
		浸水対策	浸水対策	地下設備の地上化など	地下設備の地上化など	実施	1設備	1設備		
		危機管理体制の強化	危機管理体制 の強化	震災対策マニュアルの見直し	震災対策マニュアルの見直し（BCPの策定を含む）	未実施	R9：見直 し	1回/5年		
				災害用資機材の整備強化	簡易水槽の所有数	17	17	17		
				防災訓練の強化	応急給水施設密度（箇所/100km ² ）	14.2	14.2	14.2		
					近隣自治体との給水訓練の実施	検討	1回/1年	1回/1年		
				③持続 持続可能な 水道経営	水道施設 の更新	適正な規模での施設整備 老朽化施設・管路の計画的更新	施設の計画的 な更新	施設整備計画の見直し	施設整備計画の見直し	R3実施済
アセットマネジメントによる計画的な更新	法定耐用年数超過浄水施設率（％）							23.5	～0.0	0.0
	施設利用率（％）	69.2	～65					～60		
	最大稼働率（％）	80.8	～90					～80		
送配水施設	配水方法の見直し	効率的な 水道システム の構築	適正な規模での更新		大蔵浄水場のろ過池の更新	未実施	実施（繰速系）	実施（急速系）		
			管路以外の配水方法の検討		管路以外の配水方法の検討	—	検討・実施	検討・実施		
水道施設の 維持管理	有収率の向上	適切な 維持管理	漏水防止対策の強化		管路の事故割合（件/100km）	3.3	3.3	3.3		
					有収率（％）	85.5	85.5	～92.6		
	水道法改正に対応した維持管理の強化		設備台帳の更新		有効率（％）	88.2	88.2	～95.0		
					設備台帳の更新	随時更新	随時更新	随時更新		
経営・ 運営状況	業務遂行体制の強化	健全な経営 の維持	業務委託の拡充および組織体制の見直し	設計・施工・監理に要する人員の確保	実施	人員増	継続			
				委託範囲の拡大	実施	拡大	継続			
	資金の確保		施設更新費用の確保	維持経費の見直し	実施	実施	実施			
				収益の確保（未収金対策、水道料金改定）	一部実施	検討	検討・実施			
環境配慮	CO ₂ の削減	環境への 配慮	電力使用量の削減	配水量1m ³ 当たりCO ₂ 排出量（g・CO ₂ /m ³ ）	181	181	181			
				高効率機器の採用	実施	拡大	拡大			